

序

厚生省心身障害研究の一部門として、昭和58年度から発足した「小児慢性疾患の診断・治療・管理に関する研究班」は、昭和60年度では「慢性腎疾患の診断・治療に関する研究」(研究者・酒井 糾)が他研究班に移り、次の五つの研究課題によって、3年間の一応の結論が得られることとなった。

1) 小児膠原病の診断・治療に関する研究

研究者 渡 辺 言 夫

2) 小児白血病の治療に関する研究

研究者 植 田 穰

3) 小児糖尿病の治療法の社会適応に関する研究

研究者 日 比 逸 郎

4) 新生児および小児心疾患の診断・治療・管理に関する研究

研究者 高 尾 篤 良

5) 新生児外科的疾患に関する総合的研究

研究者 秋 山 洋

ここに昭和60年度の研究業績と3年間の総括とを、5名の研究者にまとめて頂き、それぞれの項に、その研究課題の直接の研究協力者を列記し、実際に研究に協力された方の姓名は、各研究報告に列記した。

これらの研究成果が、患児の診療に携わる多勢の医師に十分滲透・普及して、医療の水準の向上に役立つことを望んでやまない。

昭和 61 年 3 月

小児慢性疾患の診断・治療・管理に関する研究班

主任研究者 植 田 穰